国際シンポジウム

第 36 回日本がん看護学会学術集会

コロナ禍で世界が直面する がん看護のパラダイムシフト

日時 2022 年 2 月 19 日（土）13:40 ～ 14:40

会場 第 4 会場（パシフィコ横浜 ノース G301+302）

シンポジスト

茂木　光代 氏
（神奈川県立がんセンター　副看護局長）

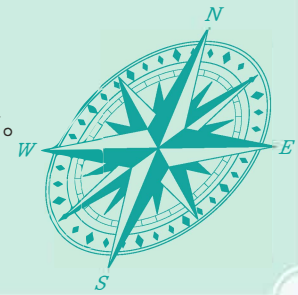
河面　育子 氏
（Memorial Sloan Kettering がんセンター　がん看護専門看護師）

Ms. Anita D'souza
（Tata 記念病院　看護師）

座長 水野　道代（筑波大学）、鈴木　美穂（聖路加国際大学）

このシンポジュウムでは、感染が世界に広がった初期の段階で多くの感染者を出した米国ニューヨーク市と、大規模な感染により注目されたインドにおいて患者のケアを実践してきたお二人の看護師と、日本で COVID-19 に感染した担癌患者受入れ体制の整備に尽力してきた看護管理者の実体験に基づいた語りを通し、コロナ禍でがん看護が直面したパラダイムシフトについて考えます。

海外のお二人の発表はビデオメッセージの形で先に収録した内容を会場で公開する形になります。
Anita D'souza 氏には会場との対話にもオンラインで参加いただく予定です。



主催：一般社団法人日本がん看護学会　国際活動委員会